

令和6年度 1学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容(何を学ぶか) ●学習方法(どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう 《立川第七中学校校歌》 《歌唱の基本》 《My Voice》 《We' ll Find The Way ～はるかな道へ》	5	○新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	拍の流れ、音のつながり方、フレーズを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
5	○リズムで楽しもう	3	○リズムで楽しもう ●リズムや音の重なり方の組み合わせなどの技能を身に付ける。	音の重なり方や反復、変化、対照など構造上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽を作る技能を身に付ける。	リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、まとまりのある創作表現をしている。	音楽活動に楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。
6	○混声合唱の響きを楽しもう 《明日の空へ》 《君をのせて》	3	○曲の構成を感じ取って、初めての混声合唱の表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、混声合唱の表現を工夫して演奏する。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。声の音色、ピアノの伴奏のリズム、各登場人物の旋律や強弱の違い、音楽の構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取ろうとしている。	8分の6拍子、音のつながり方、フレーズ、強弱の様々変を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

6	○イメージと音楽との関わりを感じ取る 映画「ジョーズ」から 《ジョーズのテーマ》	2	○イメージと音楽とのかかわりを感じ取る。 ●イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚している。	知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	楽器の音色、リズム、速度、音の高低、強弱と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
	○音楽の特徴から情景を想像しよう 《春第1楽章》	2	○音楽の特徴から情景を想像しよう。 ●音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。	楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッロ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取ろうとしている。	楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッロ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取るとともに、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	楽器の音色、ソネットを表した旋律、強弱の変化、リトルネッロ形式と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
9 10	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう 合唱コンクール ・課題曲 《Let's search for tomorrow》 ・自由曲	7	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	速度・旋律・テクスチュア・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
	○詩と音楽とのかかわりを感じ取る 《魔王》 ○日本の民謡やアジア諸民族の音楽の特	1 1	○詩と音楽とのかかわりを感じ取る。 ●詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。 ○日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特	曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	拍節的なリズムと拍節的でないリズム、コブシや産字などによる旋律装飾、歌い合わせ方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、郷土の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし鑑賞している。	曲種に応じた発声や言葉の特性、郷土の伝統音楽の特徴、音楽の多様性などに関心を持ち、それらを生かして音楽表現を工夫して歌ったり、音楽を鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。

		現を工夫して表情豊かに合唱する。	音楽の特徴をその背景となる文化 ・歴史を知ろうとしている。	し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	
評価方法			<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動 ・表現観察 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における表現 ・提出物の内容 ・自己評価カード ・感想文 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動、態度、表現 ・自己評価カード ・提出物 ・実技テスト ・小テスト
比率			1/3	1/3	1/3

令和6年度 2学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時 数	○主な学習内容 (何を学ぶか) ●学習方法 (どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○曲想を生かして、表現を工夫しよう 《夢の世界を》 ・Let's Sing! イメージをもって、のびのびと歌おう 《My Voice!》	3	○曲想を生かして、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている	声の音色、拍子や速度、主旋律、声部の関わり方、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
5	○詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう 《翼をください》 旋律の重なりを聴こう。	2	○詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりや、旋律の音の動き、強弱の変化から旋律のまとまりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●パイプオルガンの豊かな響きを感じ取りながら聴く。	歌詞の内容や曲想、言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。	拍子、速度、繰り返される旋律、フレーズの方向性やまとまり、二部形式や構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもって表現している。 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら聴いている。	歌詞の内容や曲想、言葉の特性に関心をもち、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら取り組む。
6	○《フーガ ト短調》	1				
7	○曲の構成を理解して、曲想を味わおう わが祖国より《ブルタバ》	1	○曲の構成を理解して、曲想を味わおう。 ●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。	オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。	オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

9	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう 《大切なもの》	6	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成などを知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
10	○オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう 《アイダ》から	2	○オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史とのかかわりについて理解する。	知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解する、音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批判するなどして、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音の音色、旋律、オーケストラと合唱のかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
11	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう ・合唱コンクール自由曲	4	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成などを知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
12	○歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう 《長唄「勸進帳」から》	3	○歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評す	楽器の特徴や基本的な奏法、声部の役割と全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。	楽器の音色、拍節の表れ方、序破急と関係する速度の変化、楽器の合わせ方、強弱の変化などを知覚し、それらの働きの生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴、音楽の多様性を理解して鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の特徴や基本的な奏法、声部の役割と全体の響き、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴、音楽の多様性に関心を持ち、演奏したり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。

		<p>るなどする。</p> <p>●長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。</p>				
	3	<p>○曲想を生かして、表現を工夫しよう。</p> <p>●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きと関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>拍子や速度、主旋律、声部の関わり方、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	
1	4	<p>○日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう</p> <p>・ 箏（こと）を弾いてみよう 《さくら変奏曲》 文楽に親しみ、その音楽を味わおう。</p>	<p>○日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。</p> <p>●様々な郷土芸能の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。</p> <p>●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。</p>	<p>楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。</p> <p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。</p>	<p>箏の音色、速度、主旋律、旋律の重なり方や反復などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、楽器や音階の特徴を感じ取りながら、音楽表現や反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように演奏したり音楽をつくったりするかについて思いや意図をもって表現している。</p> <p>音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心を持ち、基礎的な奏法で演奏したり、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
2						

<p>○曲の構成を理解して、曲想を味わおう 《交響曲第5番》</p>	2	<p>○曲の構成を理解して、曲想を味わおう。 ●曲の構成と曲想とのかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚している。</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>3 ○歌詞の内容や曲想を感じ取って 《君に伝えたい》 ○構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルを作ろう。</p>	4	<p>○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。 ○反復、変化、対照等の構成上の特徴について理解する。 ●3～4人グループに分かれ言葉によるリズムアンサンブルを作り、リズムや音の重なり方の組み合わせなどの技能を身に付ける。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 音の重なり方や反復、変化、対照など構造上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽を作る技能を身に付ける。</p>	<p>速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。 リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、まとまりのある創作表現をしている。</p>	<p>歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽活動に楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。</p>
<p>評価方法</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動 ・表現観察 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における表現 ・提出物の内容 ・自己評価カード ・感想文 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動、態度、表現 ・自己評価カード ・提出物 ・実技テスト ・小テスト 	
<p>比率</p>		<p>1/3</p>	<p>1/3</p>	<p>1/3</p>	

令和6年度 3学年 音楽科 年間指導計画

月	単元名・項目名	時数	○主な学習内容 (何を学ぶか) ●学習方法 (どのように学ぶか)	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○音楽の構成を生かして表現しよう 《Amazing Grace》	4	○曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●パートの役割を理解し、全体の響きや構成を考えながら音の組み合わせ方や重ね方など、表現を工夫する。 ○日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう。	歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	拍子や速度、主旋律、声部のかかわり方、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
5	○日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう 《花》 《花の街》	3	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている。	速度とその変化、調、同主調転調、主旋律と他の旋律、二つの声部、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

6	○混声合唱の深まりを表現しよう ・My Voice! 歌い継ごう 日本のうた 《ふるさと》	3	○曲の構成を感じ取って、混声合唱の深まりを表現し工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、混声合唱の深まりを表現し工夫して演奏する。	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている。	速度とその変化、主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
7 8	○言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう 《My Melody》	2	○言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう。 ●言葉の抑揚や音階の特徴を生かして、表現を工夫しながら旋律をつくる。	言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組み合わせ方、記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくっている。	リズムや旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもって表現している。	言葉の抑揚や音階の特徴に関心を持ち、それらを生かして音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
9 9	○歌詞の内容や曲想を感じ取って表現しよう ・合唱コンクール 自由曲	6	○曲想や声部の役割を感じ取って、表現を工夫しよう。 ●歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもって表現している。	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
10	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 耳でたどる音楽史 《ブルダバ》	4	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。 ●音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

11	○雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう 《能「敦盛」から》	3	○能の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	能の音楽を形づくっている楽器の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。	能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心をもて鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	能の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、能の特徴とその背景となる文化・歴史との関連、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
	○箏の表現を生かして ・箏（こと）を弾いてみよう 《さくら変奏曲》	4	○箏の表現を生かして、その魅力を味わおう。 ●箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり音楽をつくったりしている。	箏の音色、速度、主旋律、旋律の重なり方や反復などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、楽器や音階の特徴を感じ取りながら、音楽表現や反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように演奏したり音楽をつくったりするかについて思いや意図をもって表現している。	楽器や音階の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、基礎的な奏法で演奏したり、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったりする学習に主体的に取り組もうとしている。
12	○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ○ルールを守って音楽を楽しもう。	2	○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 ●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ○音楽には創作者がいて、その音楽を利用する際には、原則として著作者の許諾を得ることを知る。	楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。	楽器の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解する。世界の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、世界の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
		4	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている。	速度とその変化、主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについ	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
1	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 卒業式の歌	4	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。 ●歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊	歌詞の内容や曲想、曲種に合った発声で、言葉の特性を生かして表現するために必要な技能や基礎的な奏法を身に付けて歌っている。	速度とその変化、主旋律と他の旋律、各声部のかかわり方、強弱とその変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについ	歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

3		かに合唱する。		て思いや意図をもって表現している。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動 ・表現観察 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における表現 ・提出物の内容 ・自己評価カード ・感想文 ・実技テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中における行動、態度、表現 ・自己評価カード ・提出物 ・実技テスト ・小テスト 		
	評価方法		1/3	1/3	1/3